

# 平成28年度第7回登別市教育委員会会議録

日 時 平成28年10月20日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 2階 小会議室

## 第7回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成28年10月20日（木）午後4時30分
- 2 場 所 登別市民会館 2階 小会議室
- 3 議 案 議事日程第1 登別市教育委員会教育長職務代理者の指名について  
議案第13号 平成27年度教育行政事務の管理及び執行状況の点検・評価報告について
- 4 情報提供 1. 平成28年度登別市功労者表彰及び登別市表彰の被表彰者について  
2. 平成28年度全国学力・学習状況調査結果のポイントについて  
3. 平成28年度教育ふれあいウィークについて  
4. 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について  
5. 生涯学習事業「実績と点検評価」について  
6. 人形浄瑠璃 文楽の公演について  
7. 市民スポーツ・健康フェスティバルについて  
8. 文化の日講演会について  
9. 読書週間講演会について

### 出席者

#### （教育委員5名）

委員長	垣 内 登紀子
委員	森 口 達
委員	赤 井 秀 輝
委員	堅 田 裕
委員	武 田 博（教育長）

#### （事務局9名）

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	櫻 井 貴 志
学校給食センター長	小 森 仁
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
図書館長	綿 貫 亨

**○垣内委員長** 本日の委員の出席は5名でございますので、委員会は有効に成立していることをご報告します。これより、平成28年度第7回教育委員会を開催いたします。本日の議事は、議事日程1件、議案1件になります。

それでは、早速議事に入ります。議事日程第1は教育委員会委員の身分の取扱いに関する人事案件ですので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項のただし書き」の規定により、公開しないことにしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、本日の議事日程第1は、公開しないことといたします。

(ドア閉鎖)

(非公開)

**○垣内委員長** 議事日程第1が終了しましたので、この後の委員会を公開することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」声あり)

それでは公開にて議事を進めさせていただきます。議案第13号「平成27年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

**○野崎教育部参与** 先月の教育委員会におきまして提示いたしました点検・評価報告書についてでございます。本日は原稿の最終点検ということでお気づきの点がございましたらご意見をいただきましてご承認をいただきたく提案をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

**○垣内委員長** 第6回の9月の定例委員会で提示がありまして、資料をいただきました。その中で訂正とか追加の意見がありましたらお受けしたいと思います。点検評価も年々詳細にわたり皆さんにわかりやすく、また皆さんの要望に応えたスタイルになっていると思います。本当にここまで詳細に出していただいている担当の方はご苦労だったと思います。教育委員会の点検・評価ということで、定例の教育委員会の流れについて、それから活動状況についてなど詳細に明示をしていただいております。ご意見ございませんか。学識経験者のお二人は石井先生と福川先生ということでお二人に評価をいただいております。詳細にわたって評価をいただいております。如何ですか。

**○森口委員** 細部に渡ってきちんとまとめられておりますし、学識経験者のお二人もまとめられていると思います。

**○垣内委員長** それでは教育委員会の点検・評価報告書につきましては、承認をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

**○野崎参与** なお、今後ですけれども市民への説明責任を果たすという関係もありまして11月に市議会へ提出するということになります。それと教育委員会のホームページの方へも全文掲載させていただいて広く公表するという形をとって参ります。

**○垣内委員長** そういう中で活発な意見をいただくということが、今後の登別の教育にとって様々な教育の向上につながるものと思っていますので、よろしくお願いいたします。

以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いいたします。

## 【情報提供案件】

**○橋場教育部次長** それでは資料の1ページになります。平成28年度登別市功労者表彰及び登別市表彰の被表彰者が決定されましたので、教育関係について情報提供させていただきます。まず功労者になります。4番目 街道重昭氏は、永年にわたり登別市文化財審議会委員として文化の向上に尽力されております。次に、5番目 田中秀治氏は、永年にわたり登別市軟式野球連盟役員として体育の発展と振興に尽力されております。それから教育行政事務の管理及び執行状況の点検・評価において、学識経験者として知見をいただいております石井憲一氏が都市計画審議会委員として功労者表彰の被表彰者として決定されておりますので、併せて報告させていただきます。

次に3ページをご覧ください。市表彰になります。教育文化貢献表彰では、石橋栄五郎氏が、多年にわたり登別民謡連合会役員として地域文化の向上に尽力されております。山下利夫氏は、多年にわたり郷土資料館ボランティアグループSLG役員として体験学習の指導に尽力されております。

また、教育委員会からの推薦ではありませんが、善行表彰で美園・若草地区連合町内会せわずき・せわやき隊と鷺別子ども見守りたいの2団体が、それぞれの地域で小学生の下校時の見守りや声掛けなどの地域安全活動に尽力されております。

それから自治貢献表彰で平秀里氏が表彰者として決定しておりますが、平氏は、昨年度、幌別中学校吹奏楽部へ100万円、今年度、登別中学校、幌別中学校、緑陽中学校の各吹奏楽部に50万円ずつ、そして今月18日には幌別中学校へ学校備品として30数万円を寄贈されておりますので、付け加えさせていただきます。

表彰式は11月3日の文化の日に10時から中ホールで行われます。各委員にも案内があると思いますので、出席可能な方はよろしく申し上げます。なお、出欠の連絡は必要ありません。以上です。

**○垣内委員長** 他にありませんか。

**○櫻井学校教育グループ学務主幹** 私の方からは平成28年度の全国学力・学習状況調査結果のポイントとしてまとめさせていただきましたので、冊子の方をご覧くださいと思います。今年度の全国学力・学習状況調査におきましては、4月19日（火）に実施されました。小学校8校の6年生363名、中学校は5校で366名、計729名の児童生徒が実施したことになります。

2ページをご覧ください。結果の概要を載せていますが、今年度の平均正答率と平均正答数となっています。小中学校とも全道・全国と比べまして下回っておりますが、平均正答数をご覧ください。全ての教科で正答数の差というものは1問未満となっております。例えば、小学校の国語Aをご覧ください。本市の児童は、15問の問題がありましたが、平均の正答数は10.5問となっておりますが、全国を見ると10.9問の正答数となっております。100点満点にした正答率で見ると差が

あるように感じるのですが、正答数というものは全国的にも差が縮小して、小さな幅の中でひしめき合っているという状況となっています。

続きまして、3ページをご覧ください。平成19年度から28年度までの全道平均を0としたときの本市の状況を表したグラフです。本年度は、小学校の国語Aで1.1ポイント、国語Bで4.2ポイント、算数Aで1.3ポイント、中学校の国語Bで1.4ポイント差が広がってしまいました。一方、小学校の算数Bで1.7ポイント、中学校国語Aで2.2ポイント、数学Aで0.8ポイント、数学Bで1.7ポイント差が縮まったこととなります。ちょうど10年が経過しましたので、その流れとなります。

次に4ページをご覧ください。これは質問紙調査の結果となっております。国語や算数、数学が好きと回答した割合は、小学校においては今年度全国と比べても低く、逆に中学校では高くなっており、先ほどの3ページの方では、中学校の方は全道平均には負けているのですが、国語B以外は昨年度と比べて右肩上がりになっています。ですから国語が好き、数学が好きというアンケート結果が点数にも影響していることが分かると思います。次に家庭での学習についてですが、小中学校ともに家庭で復習に取り組んだり、自分で計画を立てたりして学習に取り組んでいる割合というのは、全国と比べても高くなっております。しかし、勉強時間については1時間以上勉強する割合は全国と比べても低く、ここが一つの課題になるのではないかと考えております。また、テレビ、それからゲームやインターネットをする時間は全国と比べても長く、家庭での生活についても教育していただく必要があるのではないかと考えております。

5ページからは、我々事務局としましては、どの層が多いのか、下位層がどのくらいいるのかというのをきちんと分析する必要があるという考えから、下位層と上位層の割合というのを調べてみました。例としては、小学校の国語Aになりますが、全国で見ると正答数が15問あったら8問までが下位層といわれています。その下位層の割合が、登別市は25.1%になります。ところが全国は21.3%となっており、下位層の割合が今回多かったといえます。今度は正答数が13問以上の上位層といわれる割合ですが、登別市は32.8%あります。それに比べて全国は37.5%となっておりますので、この上位層の割合が少ないといえます。このように5ページからはそれぞれ小学校国語A、国語B、そして中学校というふうに分けて分析しています。

次に13ページをご覧ください。下位層がどのようになっているかということです。例えば、小学校国語は年度ごとの大きな違いは見られないのですが、ちょっと高かったり、ちょっと低かったりということなのです。ところが算数Aは、14ページです。下位層が増えてしまった結果になってしまいました。中学校については差が縮小してきているのが分かると思うのですが、小学校から中学校への連携というのが少しずつ功を奏してきたということが言えます。ただ小学校の算数Aの開きを考えると、例えば繰り返しの学習を徹底していただいたり、もうちょっと基本的な学習を取り入れていただいたりということを学校現場の方に働きかけていく必要

があるのではないかと考えております。

17ページをご覧ください。質問紙調査の結果になります。児童生徒の質問紙による学習状況の実態であります。家庭での学習は先ほど申し上げました通り小中学校ともにしっかりやっております。一方、学習塾で学習している児童生徒は全国と比べて30ポイント以上少ないと、通塾率が低いというところは特徴として挙げられます。また、家庭、地域での生活においては、インターネットの使用時間が長いということ。ところが家庭でのお手伝い、学校での様子を家庭でどれくらい話しているかという割合については高くなってきております。

次に22ページをご覧ください。学力と質問紙のクロス集計です。質問紙と実際のテストの相関関係を比べますと国語も算数も自分の考えを明らかにできる子ども、それをノートに書いたりできる子どもというのは学力が概ね高いという結果になっております。ですから学習の中で各活動の充実というものが重要ではないかと考えております。学習時間についても長い方が、学力が高い結果となっております。ただ小学校においては3時間以上勉強したとしても、実は3時間以上だと逆に点数が低くなってしまうと、2時間から3時間の層が、学力が一番高いと、一方中学校は3時間以上勉強している子が、全国と比べても点数が高くなっているというふうになっております。今後についてであります。学習時間であったり、各活動の充実に向けて、各学校の取組を充実していただけるよう現場と協力して具体的な方策を考えていきたいと考えております。また、社会や地域で起こっていることに興味を持っている子や地域のボランティアに積極的に参加する児童生徒というのは学力が高いという結果が出ていますので、本市で進めておりますコミュニティ・スクールの取組とも連携して地域に出ていける子どもたちを育てることで学力向上につなげていきたいと考えています。以上になります。

**○垣内委員長** その他の情報提供をお願いします。

**○野崎参与** 今年度の教育ふれあいウィークについてでございます。レジュメの最後ページをお開きください。今年は10月23日（日）から11月5日（土）までの2週間を設定しております。その中で2回ある土曜日、10月29日と11月5日のどちらかを土曜授業で公開してくださいということをお願いしていて、10月29日は幌別東小学校、鷺別小学校、若草小学校、登別小学校、登別中学校、11月5日はその他の小中学校という形で、だいたい8時半くらいから11時半くらいまでの間、授業を公開していただくということになっております。そのプリントは子どもを通して保護者に配布しているものになります。また、地域の方々には、教育のぼりべつの「教育ふれあいウィークの開催」ということで紹介させていただいております。その中では1時間目どういう授業をしますということも分かる範囲で示させていただいて、少しでも多くの方に各学校の子ども達の頑張りを見ていただきたいと考えております。因みに昨年は、ふれあいウィークの間に学校に足を運んでいただいた保護者の方は1,241名、地域の方は129名、合計1,370名の方が学校に来ていただいているということになりまして、今年も学校を通じて啓発活動をしていただいて、より多くの方々に子ども達の頑張りを見ていただきたい

と考えております。もし時間がありましたら委員の皆様にも学校に足を運んでいただければと思います。私どもも動いております。行くことの報告もありませんのでよろしくお願いいたします。

○**橋場次長** 続きまして参与から今説明がありましたが、教育のぼりべつの10月1日号ができましたのでお配りしています。後程ご覧いただければと思います。

○**安部社会教育グループ総括主幹** 社会教育グループからは3件情報提供させていただきます。はじめに、生涯学習事業（実績と点検評価）についてでございます。資料はこちらのものになります。こちらについては平成27年度に実施しました生涯学習関連事業について、第4次登別市社会教育中期計画の取組項目に沿って各事業の実績をもとに点検・評価を行い、今後の方向性についてまとめております。ご一読いただければと思います。続きまして、人形浄瑠璃「文楽」の公演についてでございます。こちらは16日（日）に開催されます西いぶり定住自立圏文化事業の文楽ですが最終的にチケットの販売枚数が570枚ということで黒字の収支となっております。来場者数ですが、昼の部は大人が272名、子どもが15名、合計で287名、夜の部は大人が187名、子どもが5名、合計192名、昼夜の合計が479名の参加となっております。また、昼の部と夜の部の間に中ホールで行いました文楽入門が143名の参加となっております。

続きまして、市民スポーツ・健康フェスティバルの関係についてでございます。今月の2日（日）に開催しております。参加者数は、岡志別の森運動公園の会場では308名、市民プールで269名、合計で577名の参加で、前年度から28名の増となっております。以上でございます。

○**垣内委員長** ありがとうございます。その他情報提供をお願いします。

○**綿貫図書館長** 図書館から2点情報提供がございます。11月は、3日の文化の日と読書週間がありまして、図書館では例年講演会を行っておりまして、今年度も講演会を実施いたします。お手元にチラシを配布しました。まず3日の文化の日の講演会に際しまして、昨年9月に登別の駅前にできました登別映像機材博物館の館長であります山本敏氏にお願いしまして、「カメラマンという仕事」と題しまして、山本氏が撮影されました映像を見ながらカメラマンの仕事、並びに映像機材博物館の開館に至る経緯、或いは今後の抱負の話をいただく講演会を実施いたします。それから11月12日は、先ほど名前が挙がりました街道重昭氏をお呼びしまして、読書週間の講演会といたしまして、「登別のたからもの～幌別町のアイヌ語地名のことなど～」と題して、知里真志保・山田秀三著の「幌別町のアイヌ語地名」という本を読み取っていく講演会を実施いたします。いずれも参加無料でありまして予約等は必要ありませんのでお時間がございましたらどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○**垣内委員長** ありがとうございます。只今9件の情報提供がございましたが、この件につきまして報告と今後の日程についても情報提供がございましたが、皆様の方からご意見なりございませんでしょうか。

○**森口委員** 学力テストの調査結果のことですが、前にお聞きしたと思いますが、

中学の平成26年度は全道の科目を上回っていると、それから小学校の方は、平成23年ですか、それが突出してというのがありますけども、これは何か理由がありますか。

○櫻井主幹 小学校の方は平成23年が高かったのですが、その子たちが順調に育ってちょうど中学校3年生になりました。この学年は明日中等教育学校の方に入った子どもも多かったのですが、それにもかかわらず中学校の方で下げないでいたので成績が良かったと思います。

○森口委員 グラフを見ると小学校の23年度と中学校の26年度が全道よりも突出しています。

○櫻井主幹 この23年度の小学校については、大震災があった都市なので全国の公表がされませんでした。もし公表されていれば当然全国よりも点数が高かったのではないかということがありました。

○垣内委員長 確かにこのグラフとか、数値化するとプラス、マイナスで出てくるわけですが、先ほどおっしゃったようにその差は縮まってきているというふうに思っていますよね。ですからそこで一喜一憂しない方が、プラスだからマイナスだからということでは無くて、がっかりしない方がいいのかなと思います。引き続き努力は必要と思います。

○櫻井主幹 15問だと単純に計算して1問15点弱になります。1問ができないと7点マイナスになってしまいます。そのため率になると開いた感じになります。合っていた丸の数だけ数えると全国も北海道も登別もそう差はありません。当然登別の子の方が全道よりも高いときもありますし、教科によっては全国よりも高い正答数のときもあります。中々そこにはマスコミは着目しないで、一番差が出るところに着目しますから、勘違いしている方が多いのですが、実は1問の中に47都道府県が入っているという状況だけのご理解は頂きたいと思います。

○垣内委員長 つい近隣のところでマスコミ報道されると、そこと比べて登別はどうなんだろうと思ってしまいます。やはりこういうことは長い目で毎日の努力の積み重ねが成果になってくると思います。やはり家庭でどのように取り組むのか、スマホとかゲーム機とか、テレビの視聴とか、そういうところをいかに圧縮するかどうかということが大事だと思いましたが、先ほど小学校で3時間以上学習するよりも2～3時間で集中して学習する方が学力に評価されるということで、長ければいいんだということでは無いのだなと思いました。先生の方からご覧になって傾向とか、登別の子どもの数字から離れたところの傾向なり、希望とかお伝え頂ければ。

○櫻井主幹 現場の方では我々の施策に対し大変協力をしていただいておりますが、私の方でももう少しこうすればよかったと思うところは、家で勉強させてくださいというところは口が酸っぱくなるほど伝えさせていただいています。それを現場の方で受けていただいて、先生方もあの手この手でやっていただいております。ただ勉強させるときにきっかけを与えたいからプリント1枚を宿題ということで配ります。ところが子どもたちは学校から出された宿題をやるとそれで勉強はもういいということで、予習、復習はちゃんとやっているのですが、時間というものが足りない



ということが考えられます。全国学テの A 問題というのがあります。これは基本的な問題なのですが、各学年 3 年生以上の問題が出ます。ですから 6 年生がやっているテスト問題を 4 年生にやらせてもある問題はできます。それで今やった勉強を 4 年生にやらせると全員が丸になります。90 数% の子ども達が、例えば今年の問題でいいますと「 $2.1 \div 0.7$ 」という問題がありましたが、それを習った直後に 4 年生にやらせると 90% 以上の子どもができます。ところが 1 年が過ぎてしまうとそれが 40% の正答率になってしまうというような問題があります。そのため、今後は学び直し、繰り返し勉強させるということも作戦として考えていかなければいけないと感じております。

○**垣内委員長** ありがとうございます。この件につきましては、このような方法もあるのではないかとということとか、在りませんか。

○**赤井委員** 放課後学習を見ていた時に、櫻井主幹が言っていたことがぴったり当てはまると思えました。結局、忘れていたのです。それでちょっとした話で、あっそうかと思いだしできるのです。そうやって考えると放課後学習に残る子どもがもっと多くあってほしいと思います。その辺を担当の先生がどういう働きかけをして放課後に残ってもらっているのか、或いは自主的な形で残っています。ですからその辺もう少し工夫が必要だと私は感じていました。

○**櫻井主幹** 放課後学習で回数が多いところについては、A 問題については右肩上がりになっています。

○**赤井委員** なるほどね。分かります。

○**櫻井主幹** こちらとしましても問題を工夫したり、回数を増やしていければ協力を得られると考えております。

○**赤井委員** ちょっとしたことが、その問題をやるのかやらないのかが、その子どもの力に加算されていくと、そんな感じを持ちます。

○**垣内委員長** 子どもはちょっとしたきっかけで学力に取り組むその姿勢が大きくプラスに転じることもあると思いますので、そのきっかけをどこで大人がチャンスを作ってあげるのが大事だと思いますけども、今この状態ということは、これから楽しみです。そのように思っています。その他皆様の方からご意見ありませんでしょうか。只今、ふれあいウィーク、10月29日と11月5日の土曜日に分けてということで、皆様の方でお時間がありましたら是非足を運んでいただければと思います。

文楽の方も 570 枚のチケットが販売できてよかったですね。文楽入門も良かったですよ。先に学習させていただいてから夜の部を見せていただきました。そのことがあったので分かりやすかったです。

それから図書館の方で準備しております講演会、読書週間の講演会ですね。11月3日と12日、こちらも是非足を運んでいただければと思います。2回とも図書館の3階会議室となっております。皆様の方から何かご意見とかご質問がありましたらお願いします。よろしいですか。それでは、これで終了させていただきます。

最後に11月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開

催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

**○橋場次長** 11月の教育委員会につきましては、最終週が地区懇談会ということで1週前の17日木曜日でお願いしたいと考えております。

**○垣内委員長** ただ今、事務局よりご提案のありました11月17日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。

それでは、11月の定例の教育委員会につきましては、11月17日木曜日16時30分から開催するという事で決定とさせていただきます。

詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ頂くという事で宜しいでしょうか。

**○橋場次長** 例年11月は移動教育委員会ということで、市民会館ではなくて今回は若草小学校で行いたいと思います。例年、校長先生との懇談をしていただいておりますので、16時から校長先生と懇談をしていただいて、16時30分から教育委員会を行いたいと思います。

**○垣内委員長** それでは、11月の定例の教育委員会につきましては、11月17日木曜日16時から若草小学校で開催するという事で決定とさせていただきます。

詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ頂くという事で宜しいでしょうか。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。